

整理番号
58

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	包括的支援事業・任意事業費					担当課	高齢福祉課	
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち					担当係	地域包括ケア推進係
施策項目	3	高齢者支援					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	1	生活を支える地域づくり					事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	8	4	2	1	包括的支援事業・任意事業			

目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	・ 高齢者の要介護・要支援の状態になることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、最後まで自分らしく日常生活が送れる体制づくりを支援する事業 ・ 地域ごとの課題を地域で支えあい支援できる体制づくりを行います。		
対象【PLAN】	高齢者及び家族	意図【PLAN】	生活支援コーディネーターが各地域の課題を把握し、その課題解決に向けた協議を地域の人たちで話し合い、少しでも課題が解決できるよう支援していく。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市内全域において、社会資源の発掘や地域課題の把握、関係機関とのネットワーク構築等を行いながら支え合い活動の拡大を図り、地域における生活支援体制の整備に向けた取組みを推進する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		2,041	2,041	2,134			
	都道府県支出金	千円		1,020	1,020	1,067			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		1,220	1,220	1,276			
	一般財源	千円		1,020	1,020	1,067			
	事業費合計	千円		5,301	5,301	5,544			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
生活支援コーディネーター人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1	2	3	4	4
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	行政の制度だけでは解決できない各地域ごとの課題について、地域の住民が自分たちで話し合い、課題解決に向けて支援を行うもので、優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	生活支援コーディネーターがかかわることによって、各地域でそれぞれ独自の活動をスタートさせた地区も出てきている。ただし、それで解決ではないため、引き続きかかわること地域住民の「満足度を高めていく。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	生活支援コーディネーターの設置にかかる人件費や活動にかかる経費を含めた委託料になっている。今後の事業の進め方等も協議を行い、少ない人数でも効果が出るように内容等の検討を進めていく。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度は、モデル地区との関わりのほか、聖光学院や、地域自治組織と連携した活動ができた。しかし、市内全域に生活支援コーディネーターの活動が広がっていない。次年度は集落支援員との連携も含めて、地域資源の発掘や情報収集を行い今後の活動に活かしていく。

整理番号		59		事務事業評価表		令和5年度実施事業		部 長	課 長	係 長	担当者
事業名		包括的支援事業・任意事業費（再掲）				担当課		高齢福祉課			
基本目標		2 健やかでやさしい健康・福祉のまち				担当係		地域包括ケア推進係			
施策項目		3 高齢者支援				計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組		2 健康づくり・介護予防の推進				事業区分		一部委託			
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業					
		8	4	2	1	包括的支援事業・任意事業					
目的と方針【PLAN】		高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。									
事業概要【PLAN】		・高齢者の要介護・要支援の状態になることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、最後まで自分らしい日常生活が送れるように支援します。 ・認知症の人を地域で支えられる体制づくりを行います。									
対象【PLAN】		市民				意図【PLAN】		認知症の人やその家族が希望や尊厳をもって日常生活を過ごせるように、市民が認知症の正しい知識をもち地域全体でお互いに支えあう社会づくりを推進していく。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		認知症についての正しい知識の普及啓発を行う。 認知症サポーター養成講座を開催しサポーターの人数を増やす。 チームオレンジを立ち上げて認知症の方の見守り体制の構築を目指します。									
事業費【D0】		年度			04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円			128	275	882				
	都道府県支出金	千円			64	137	441				
	地方債	千円			0	0	0				
	その他	千円			64	137	441				
	一般財源	千円			76	165	528				
事業費合計		千円			332	714	2,292				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
認知症サポーター数		人	実績値が目標値以上となること	目標値	9,066	9,616	10,166	10,716	10,900		
				実績値	9,618						
				達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】											
評価視点					評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				国の推計によると、認知症の人数が2025年には約700万人になると推計されており、伊達市でも地域包括支援センターへの認知症の相談件数が増加している。今後も増加することが見込まれ、市民ニーズ及び事業優先度は高い。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				認知症サポーターが増加し、地域全体で見守る体制が構築できれば、誰もが安心して暮らすことができ、結果として目標達成と市民満足度と社会貢献度も高まると考えている。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				出前講座のメニューの一つとして、まとめてチラシを作製したり、養成講座の周知や募集を市政だよりに掲載するなど工夫をしながら取り組んでいる。 見守り体制の構築のため広く地域や学校等の希望に応じて、サポーター養成講座を開催しているもので、規模縮小は難しい。						
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		一般の方だけでなく、中学校や高校でも認知症サポーター養成講座を開催し、毎年一定程度サポーターの人数を増やすことができている。 今後は、各地域でチームオレンジを立ち上げて地域での見守り体制の構築を目指していく。							

整理番号
60

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	介護予防・日常生活支援総合事業費					担当課	高齢福祉課	
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち					担当係	地域包括ケア推進係
施策項目	3	高齢者支援					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	健康づくり・介護予防の推進					事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業			
	8	4	1	1	介護予防・日常生活支援総合事業費			

目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	高齢者の生活機能の低下を予防し、介護が必要になる前の段階から、要介護状態にならないために高齢者の介護予防推進のため筋力トレーニングや普及啓発を推進します。						
------------	---	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	65歳以上の高齢者		意図【PLAN】	心身機能の低下を防ぎ、自立した生活を送ることができる。			
----------	-----------	--	----------	-----------------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	閉じこもりにならないなど日常生活に、心身機能が維持できるような環境が整っている。自分のことは自分でするように心がける。近くに通いの場がある。筋力の低下により、日常生活に不便を感じるようになったら、リハビリ等の介護予防事業を活用し専門職から日常生活上実施できるストレッチや筋トレを学ぶ。						
----------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		40,670	27,022	45,383			
	都道府県支出金	千円		20,335	13,511	22,692			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		20,335	13,511	22,692			
	一般財源	千円		81,341	54,044	90,766			
事業費合計		千円		162,681	108,088	181,533			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健幸クラブFineの65歳以上の参加者のうち週1回以上参加したことがある者の割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	45.7	52.1	57.5	62.0	65.0
			実績値	37.1				
			達成率	81.2%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	健幸クラブFineについては、民間の介護施設や運動事業など外部事業の実態を把握したうえで、介護予防事業として行政が実施すべき事業内容を関係各課、各団体と検討していく。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	数値目標には達しなかったが、生きがいづくりや通いの場として、高齢者や低体力者、基礎疾患を持つ市民の介護予防や運動するきっかけづくりに繋がる事業として運動機会の充実に貢献した。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事業の参加実績に応じた開催日数の調整を行ってきた。また、事業の評価、分析のため、参加者の介護、医療情報を基にした分析の取り組みを開始した。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	運営スタッフとの協議を定期的に行うことで参加者の声を反映させた教室づくりを行ってきた。健幸クラブFineは、教室運営の見直しや総合型地域スポーツクラブとの連携または統合の可能性について関係各課、各団体と協議を進めていく。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
61

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	老人クラブ活動育成事業					担当課	高齢福祉課				
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち					担当係	地域包括ケア推進係			
施策項目	3	高齢者支援					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	3	生きがいづくりと社会参加の促進					事業区分	補助			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	3	1	3	老人クラブ育成事業（高齢者支援）						
目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。										
事業概要【PLAN】	高齢者の生きがいづくりと福祉向上を目的として、老人クラブ活動を支援し、高齢者の社会参加や認知症の予防を推進します。										
対象【PLAN】	市内の老人クラブとその会員				意図【PLAN】	高齢者が地域の中で役割を持ち、生きがいと健康づくりを目指す活動をする。住みよい地域づくりのための社会活動に参加する高齢者が生き生きと活動できるよう支援していく。					
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	老人クラブに入会する高齢者が増えて、老人クラブの事業が充実したものになるように支援していく。										
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度		
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0					
	都道府県支出金	千円		1,279	1,626	1,615					
	地方債	千円		0	0	0					
	その他	千円		0	0	0					
	一般財源	千円		4,513	4,009	3,860					
	事業費合計	千円		5,792	5,635	5,475					
(1)伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
老人クラブ会員数		人	実績値が目標値以上となること	目標値	3,460	3,440	3,420	3,400	3,400		
				実績値	3,178						
				達成率	91.8%						
(2)チェック項目による評価【CHECK】											
	評価視点				評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				高齢者の交流の場、社会参加の場として老人クラブは必要なので老人クラブへの支援は、優先度の高いものである。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくために老人クラブ活動を支援していくことで、様々な活動が行われており参加している方の満足度は高い。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				今年度は補助金交付以外にも、広報誌への老人クラブ活動の記事掲載等により周知活動にも取り組んだ。						
(3)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			会員数の減少への対応が課題である。 老人クラブへの補助金交付を継続しながら、急激な会員減少を抑える方策の検討を行っていく。						

整理番号
62

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	高齢者雇用促進事業				担当課	商工観光課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	商工振興係
施策項目	3	高齢者支援			計画期間	令和５年度 ～ 令和５年度
主な取組	3	生きがいづくりと社会参加の促進			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	5	1	1	高齢者雇用促進事業	

目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	高齢者の生きがいづくりと就労機会の増大を図るとともに、能力を活かした活力ある地域社会づくりを行うため、シルバー人材センターに対し運営支援を行います。		
対象【PLAN】	高齢者	意図【PLAN】	高齢者の就労意欲に応じて就労できる地域社会を作る。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	シルバー人材センターに運営費補助することで、市内高齢者の就労機会の増大や社会参加の促進を図る。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		0	0				
	一般財源	千円		8,414	8,414				
	事業費合計	千円		8,414	8,414				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
会員数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	620	620	620	620	620
			実績値	576				
			達成率	92.9%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	今後ますます少子高齢化が進むことから、高齢者の就労機会は高まり、社会的需要も高まっている。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	シルバー人材センターの活動は高齢者の生きがいづくりと社会参加や就労機会の提供であることから、目標達成に向けた事業効果は期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、今後ますます取り組みが活発となることから補助額を精査し対応する。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	雇用促進事業へ統合する。

整理番号
63

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	地域介護・福祉空間整備等交付金					担当課	高齢福祉課		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち					担当係	介護保険係	
施策項目	3	高齢者支援					計画期間	令和５年度　～　令和７年度	
主な取組	4	介護保険サービスの充実					事業区分	補助	
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	3	1	3	高齢者福祉事業				

目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保するため、減災対策のための非常用自家発電の整備、耐震化改修、水害対策に伴う改修等や施設の老朽化に伴う大規模修繕等を促進します。		
対象【PLAN】	高齢者施設等	意図【PLAN】	高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保する。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	減災対策のための非常用自家発電設備の整備、耐震化改修、水害対策に伴う改修等や施設の老朽化に伴う大規模修繕等を促進するため、改修費用の一部補助を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		17,710	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		0	0	0			
	事業費合計	千円		17,710	0	0			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
整備施設数	施設	実績値が目標値以上となること	目標値	1	—	1	—	2	
			実績値	—					
			達成率	—					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				台風、ゲリラ豪雨等、自然災害の多発が懸念される。当市でも令和元年の台風、令和３年及び令和４年には震度６弱の地震が発生し、停電、断水等が発生した。高齢者施設においては、利用者の安全・安心を確保するため、安全設備の整備は重要である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設等の防災・減災対策を推進することで、利用者の安全・安心を確保できる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				国庫補助金を最大限に活用している。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		今後も、当事業を継続することで、安全・安心な施設の維持に資することができる。					

整理番号
64

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	介護基盤等整備事業				担当課	高齢福祉課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	介護保険係
施策項目	3	高齢者支援			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	介護保険サービスの充実			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	1	3	介護基盤等整備事業費	

目的と方針【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	地域医療介護総合確保基金事業を活用し、新規の地域密着型サービス事業所の整備及び介護施設等における感染症の拡大防止のための施設改修整備を支援します。		
対象【PLAN】	高齢者施設等	意図【PLAN】	高齢者等が可能な限り住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことを可能とするため、地域密着型サービス等、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	福島県地域医療介護総合確保基金を活用して、介護施設等の整備に関して補助を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		21,531	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		0	0	0			
	事業費合計	千円		21,531	0	0			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
整備施設数	施設	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	1	1	4
			実績値	—				
			達成率	—				

(２) チェック項目による評価【CHECK】								
	評価視点			評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか			高齢者等が可能な限り住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことを可能とするため、地域密着型サービス等、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか			地域密着型サービス事業所の整備、改修等を行うことで、地域の実情に応じた介護サービスの提供維持を図ることができる。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか			福島県地域医療介護総合確保基金を最大限に活用している。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】								
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今後も、当事業を継続することで、地域の実情に応じた介護サービスの提供維持を図ることができる。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	包括的支援事業・任意事業費（再掲）					担当課	高齡福祉課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち				担当係	介護保険係
施策項目	3	高齢者支援				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	4	介護保険サービスの充実				事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	8	4	2	1	包括的支援事業・任意事業		

目的と方針 【PLAN】	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実に向けた施策を推進します。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	・介護給付適正化総合支援システムを活用し、認定情報と給付実績情報を突合します。 ・事業者に対し適正給付への注意を促しながら、介護給付費の効率化を図ります。 ・ランダムで抽出されたケアプランについて専門職とケアマネ、保険者でケアプランの個別点検を行うことでサービスの質の向上に取り組みます。
----------------	--

対象 【PLAN】	介護保険サービス提供事業所	意図 【PLAN】	介護保険サービスの円滑な利用や介護保険の安定的な運営、及び利用者が真に必要なとするサービスを事業所が適正に提供するように促す。
--------------	---------------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	介護保険サービス提供事業所に対して、介護給付適正化システムによる給付内容の適正化やケアプラン点検を実施する。
----------------------	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	1,206	1,257	1,257			
	都道府県支出金	千円	603	628	628			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	603	628	628			
	一般財源	千円	723	754	754			
事業費合計		千円	3,135	3,267	3,267			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ケアプランの個別点検	件	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	20				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	介護給付について真に必要な介護サービス以外の不要なサービスが提供されていないかの検証等により、利用者に適切なサービスを提供できる環境の整備を図るとともに、介護給付等に要する費用の適正化のための事業を実施する。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	介護給付費の適正な執行は、利用者に対して真に必要とする過不足のないサービスを実施することを通じて、利用者や地域からの事業所の信頼を高め、事業所自身の健全な発展を推進することが重要である。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域支援事業交付金（国38.5%、県19.25%、市19.25%）を最大限に活用することで、事業を継続維持することができる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	介護給付費内容の確認検査や個別ケアプラン点検を実施することで、介護給付費の適正化を図り、利用者への適正なサービス提供及び介護保険制度の持続可能な制度に寄与することができる。
------------	----	-------------------------	--